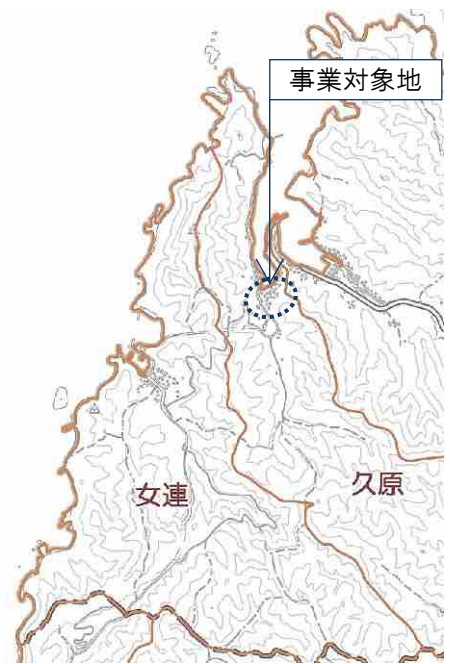


## 旧久原小中学校活用事業

事業対象地	旧久原小中学校	
対象エリア	中対馬の奥座敷エリア	
対象ゾーン	食のおもてなしと自然の奇跡体験ゾーン	
整備カテゴリ	ハード整備	建築施設(改修)、広場・屋外等
	ソフト整備	創業支援、イベント企画
事業概要	<p>平成 24 年に学校が閉鎖して以降、校舎と体育館は活用されることなく比較的状态が良い状態が残っています。</p> <p>これらの建物やグラウンドを活用しながら、地元の産品(赤牛や魚等)を提供できる飲食店や、屋外トイレを新設するなど、上対馬からの玄関口としておもてなし拠点の整備を行います。</p>	
整備優先度	短期・中期・長期	
関連する個別事業	歴史を体感する周遊アクティビティフィールド整備事業 新しい中対馬情報発信事業、Wi-Fi 環境整備事業	
事業主体	対馬市	
連携事業者	宿泊・飲食・小売事業者	
備考	地区内(整備対象地外)で赤牛の放牧・飼育を予定	



### 整備計画図



#### 整備の考え方:

将来的に校舎の一部と体育館を活用し、地区産の赤牛やボグロ等といった飲食の提供、宿泊・交流等ができる場を創出することで、来訪者のおもてなしや地域での交流ができる中核拠点を目指します。

整備テーマ③「アクティビティを支援する周辺拠点関連整備」

個別事業 No.1-2

整備イメージ



食の提供(地区産の赤牛、ボグロ等)



体育館の多目的利用(物産イベントなど)



校舎の利用(情報提供施設・飲食店)



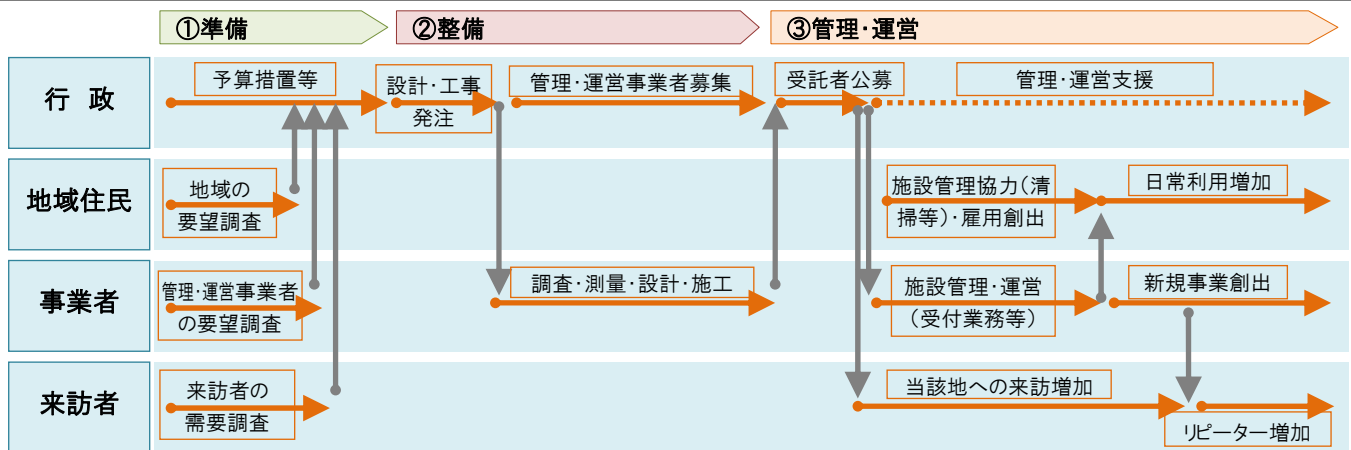
屋外トイレ

段階的整備

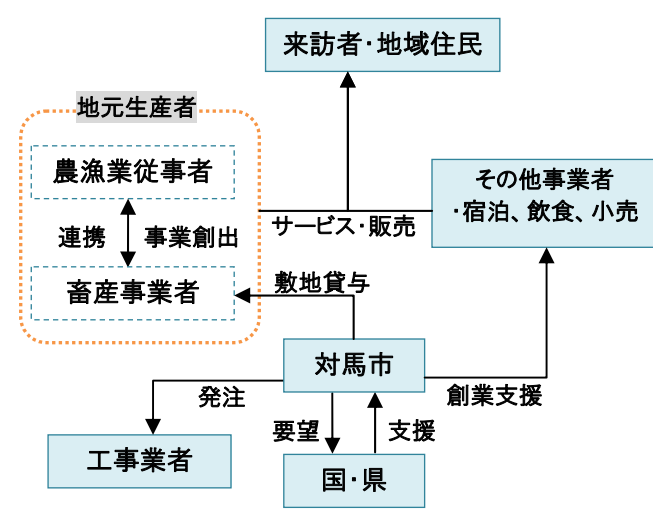
- ・地区産の赤牛やボグロといった「食の提供」をきっかけとした誘客や産業活性化を目指す整備  
⇒屋外トイレ新設  
⇒校舎棟 1階を活用した情報提供施設や飲食店の整備(エリアの情報や赤牛・漁業等の紹介、赤牛やボグロ等を提供する飲食店)
- ・体育館整備

- ・地域産業の中核を担う整備  
⇒校舎棟 2階、3階を活用した宿泊施設の整備

事業計画イメージ(赤牛飼育施設は除く)



事業間の連携イメージ



概算事業費

校舎棟		
フルリノベーション	2,000㎡	2.5億
	1階のみ	8,000万
耐震改修が必要な場合	設計+改修	5,000万
屋外トイレ(80㎡)	1箇所	4,000万
駐車場(As舗装)	10台	150万

※屋外トイレは、電気・給排水・機械設備を含む  
※各事業費は、整備水準や導入機能・設備等により異なります。

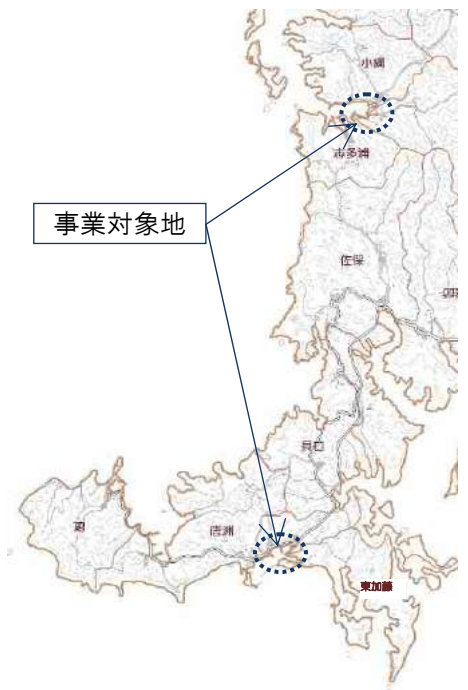
活用可能な補助事業

- ・過疎地域等自立活性化推進交付金(過疎地域遊休施設再整備事業)
- ・農山漁村振興交付金
- ・「小さな拠点」を核とした「ふるさと集落生活圏」形成推進事業



海辺の中核拠点整備事業（1/2）

事業対象地	豊玉町東加藤(旧 豊玉町振興公社)、 豊玉町大綱の空き地	
対象エリア	岬のお散歩エリア	
対象ゾーン	食のおもてなしとリフレッシュゾーン、島と夕日のやすらぎゾーン	
整備カテゴリ	ハード整備	建築施設(改修)、小規模施設(新設)
	ソフト整備	創業支援、イベント企画
事業概要	旧豊玉町振興公社と大綱にある空き地を当該エリアの中核拠点と位置づけ、新鮮な海産物を提供できる施設や体験施設を整備し、そこを拠点に来訪者等が周辺の観光地を巡ったり、周遊サイクリングをするなど、より長い時間中対馬に滞在できるように、魅力ある拠点を整備します。	
整備優先度	短期・中期・長期	
関連する個別事業	岬のアクティビティフィールド整備事業 新しい中対馬情報発信事業、民泊施設・移住支援住宅等整備事業、Wi-Fi環境整備事業	
事業主体	対馬市、交通事業者	
連携事業者	対馬地域商社、地元生産者	
備考		



事業対象地

整備計画図①

①旧豊玉町振興公社

＜水産イベント施設＞

- ・食品加工体験場、加工品販売所の整備
- ・共同キッチンの整備  
(かき小屋/浜焼き、リトリートフード提供)
- ・案内板の設置(1箇所)  
⇒既存施設を改修

＜多目的水産イベント広場＞

- ・水産イベント企画  
(自然の恵みを感じながら食と活動を組み合わせた活用)
- ・ヨガインストラクターの誘致
- ・ヨガプログラム開発
- ※食とリトリートの組合せ

＜対馬地域商社(新加工場)の移設予定地＞

整備の考え方:

①旧豊玉町振興公社(現 対馬地域商社)

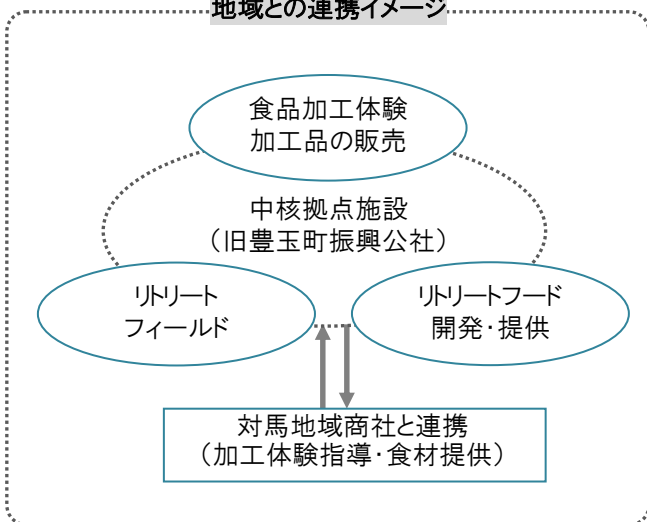
旧豊玉町振興公社の移転後、リトリート食や海産物を提供したり、食品加工体験等ができるコミュニティセンターとして、既存施設を改修します。また、広場についてはリトリートフィールドとして活用します。

整備イメージ①

■施設利用計画イメージ



地域との連携イメージ





海辺の中核拠点整備事業（2/2）

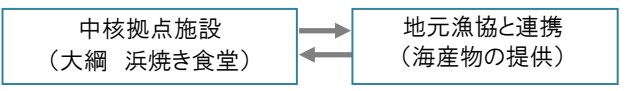
整備計画図②

②大綱の空き地



- ＜濱焼き食堂・憩いの広場＞
- ・濱焼き食堂の整備(簡易施設)
  - ・屋外トイレの整備
  - ・駐車場の整備(10台)
  - ・サイクルスタンドの設置
  - ・案内板の設置
  - ・広場の整備(5,000㎡)

地域との連携イメージ



整備の考え方:

地域住民や来訪者、サイクリスト等の憩いの場所となるよう、小綱漁港付近の耕作放棄地を利活用し、濱焼き食堂と憩いの広場を整備します。

整備イメージ②



濱焼き食堂(小屋)



食品加工体験

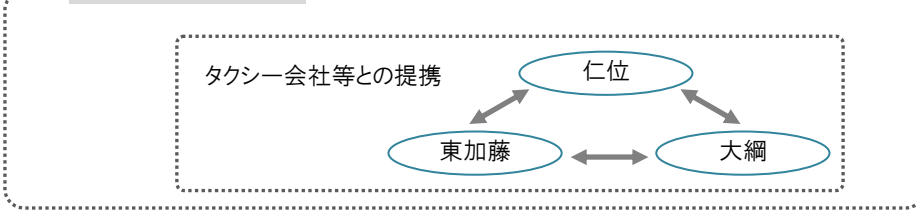


地域住民の憩いの広場

整備イメージ③

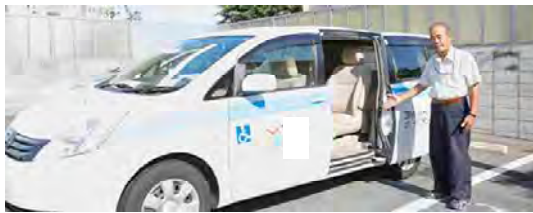
③拠点間送迎サービス

地域との連携イメージ



整備の考え方:

仁位⇄大綱、大綱⇄東加藤、東加藤⇄仁位間の交通事業者等との連携による送迎サービスを行います。  
また、他の個別事業との連携による相乗効果を狙い、自転車でもゆっくり楽しめるよう、サイクリスト向けの自転車搬送サービスを行います。



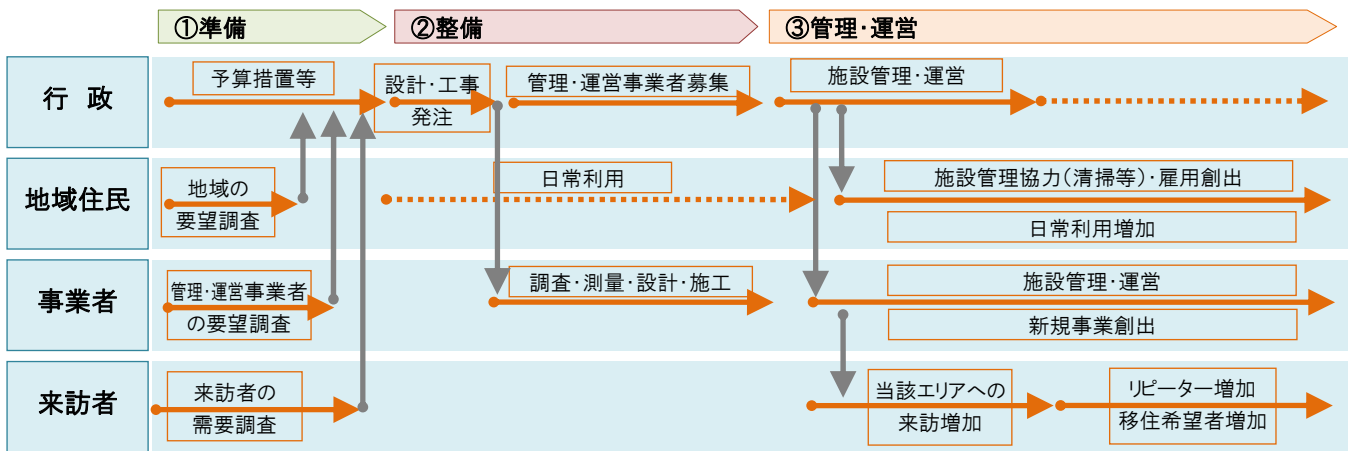
地域間想定サービス



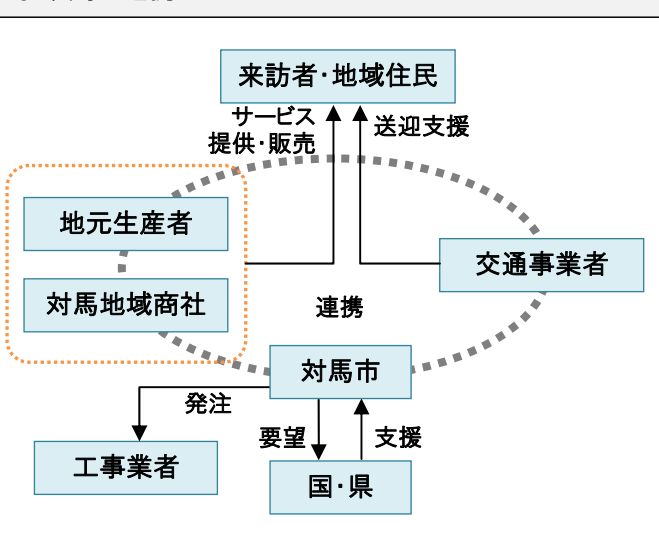
サイクリスト向け自転車搬送サービス



事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



概算事業費

旧豊玉町振興公社改修	450㎡	2,000万
多目的水産イベント広場整備(基面整正)	5,500㎡	300万
憩いの広場整備(芝生広場)	5,000㎡	850万
駐車場	10台	150万
屋外トイレ(50㎡)	1棟	2,500万
サイクルスタンド・案内板	2箇所	320万
浜焼き食堂(簡易な構造)	300㎡	3,000万

活用可能な補助事業

- ・特定有人国境離島地域社会維持推進交付金
- ・特定有人国境離島地域事業活動支援利子補給金
- ・輝く地域再生事業



## 西海岸の眺望景観整備事業

事業対象地	上県町女連、豊玉町小綱
対象エリア	中対馬の奥座敷エリア・岬のお散歩エリア
対象ゾーン	食のおもてなしと自然の奇跡体験ゾーン 島と夕日の安らぎゾーン
整備カテゴリ	ハード整備   小規模施設(新設)、路面標示
事業概要	中対馬の西海岸沿いは、自然が生み出した地層や奇岩が多くみられますが、これらを観賞できるスポットが少ない状況です。そこで、来訪者等が美しい景色を眺めながら散歩をしたり、写真撮影をすることができるよう、眺望景観整備を行います。
整備優先度	短期・中期・長期
関連する個別事業	歴史を体感する周遊アクティビティフィールド整備事業、新しい中対馬情報発信事業、Wi-Fi環境整備事業
事業主体	対馬市
連携事業者	漁協
備考	立岩は浸食による倒壊のおそれがあるため、安全対策・検証を実施した上で整備を検討



### 整備計画図



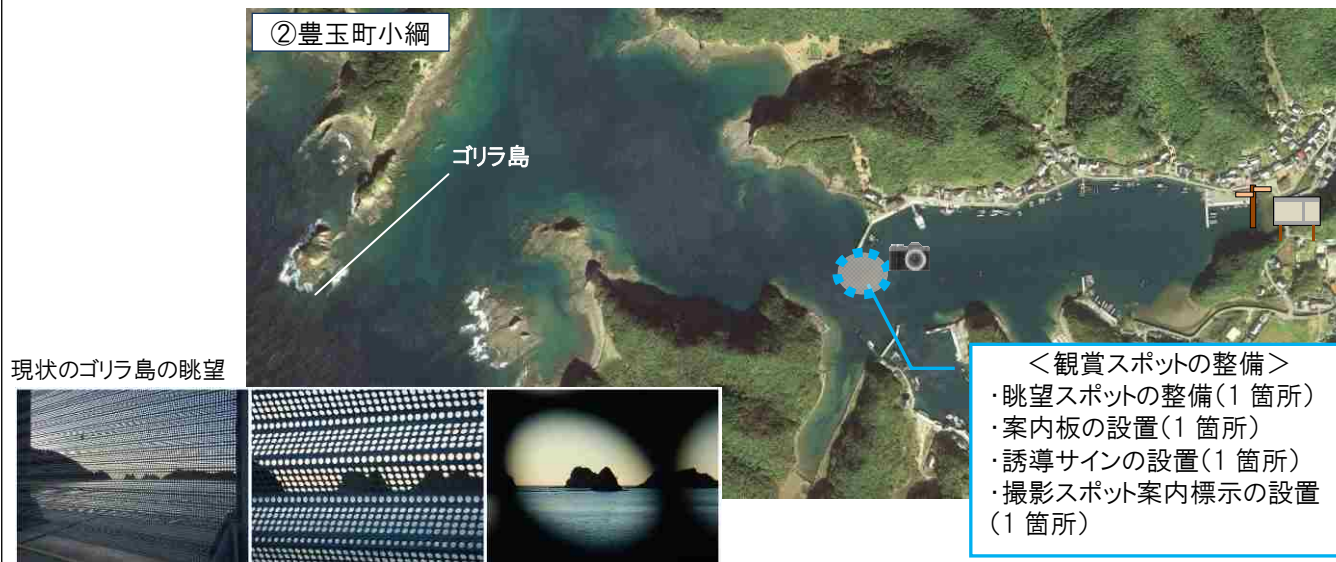
#### 整備の考え方:

##### ①上県町女連の整備

スフィンクス岩と立岩等の奇岩や地層を海岸から観賞でき、写真撮影できるよう、女連漁港から海岸沿いに遊歩道(危険箇所は転落防止柵設置)を整備します。

##### ②豊玉町小綱の整備

防風堤の影響で、陸地からゴリラ島の写真を撮ることができる場所が少なくなったため、防風堤を一部改修し、堤防の外側から写真を撮ることができるスポットを整備します。

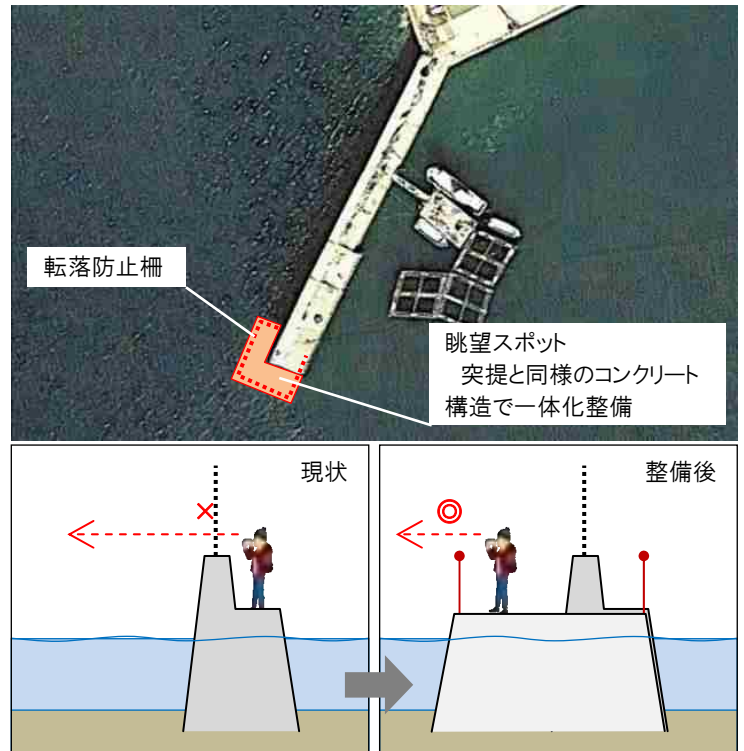


整備イメージ

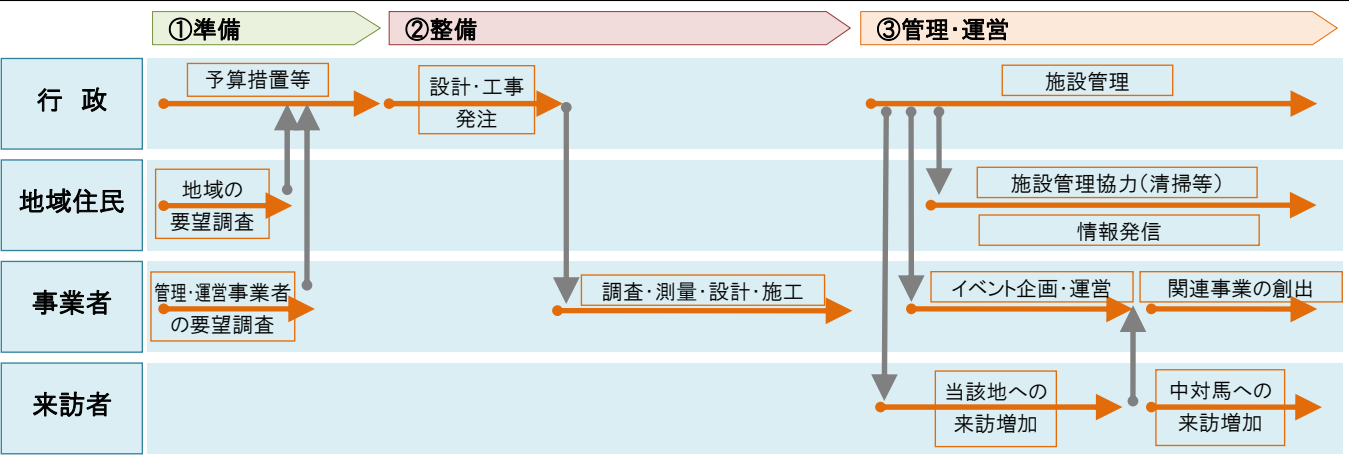
①上県町女連の整備



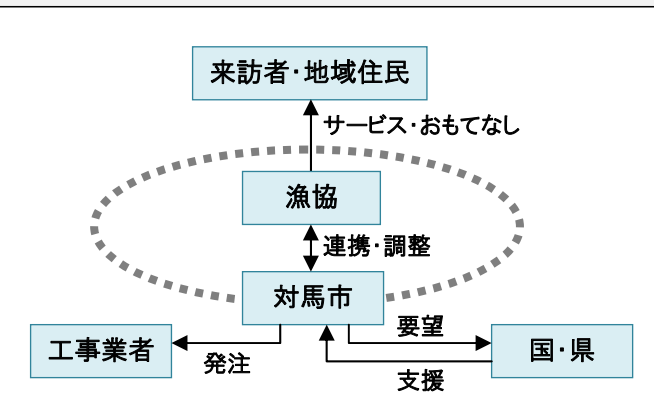
②豊玉町小網の整備



事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



概算事業費

眺望スポット	1箇所	—
海岸遊歩道(W=1.5m)	500m	600万
転落防止柵(景観アルミ)	500m	1,200万
案内板	2箇所	300万
誘導サイン	2箇所	140万
撮影スポット案内標示	2箇所	60万

※眺望スポットについては、整備箇所の水深や既設突堤の構造、波等の外力計算結果等に拠るため算出不能

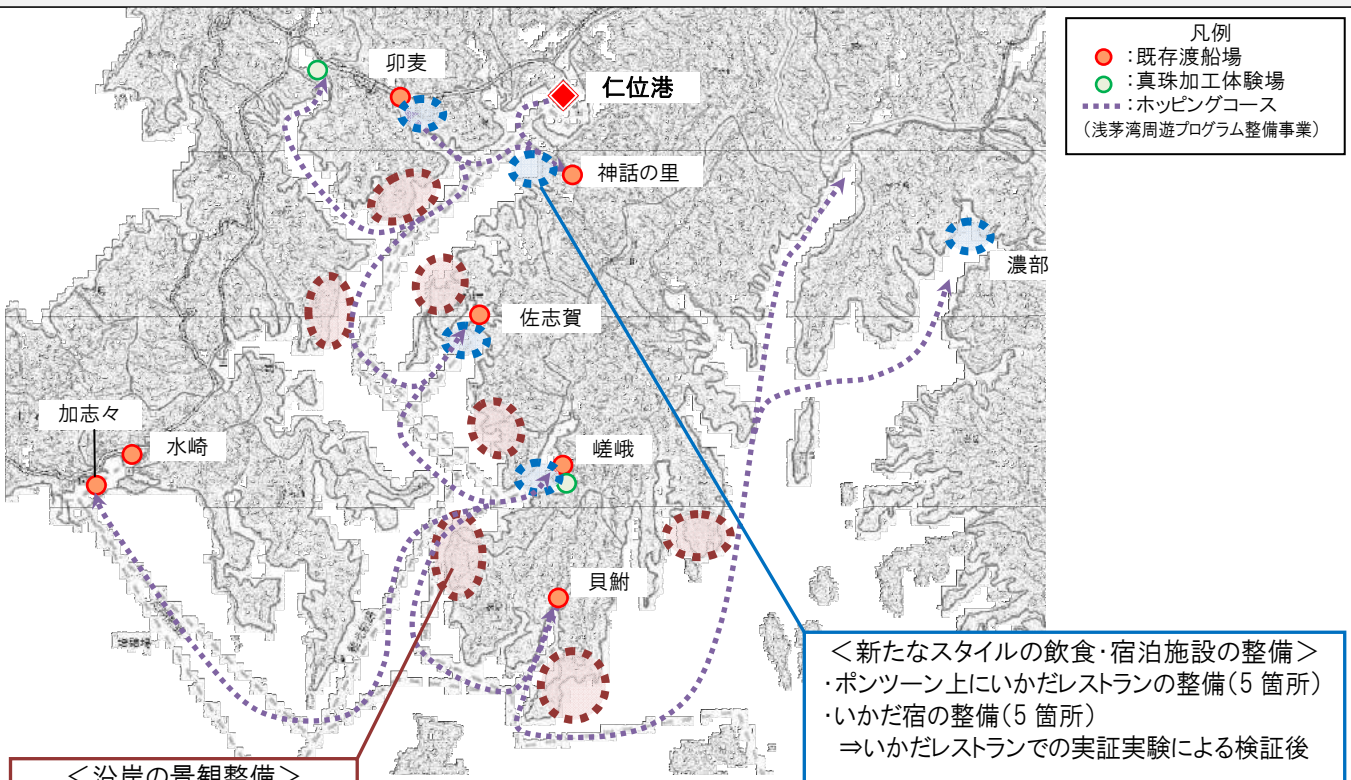


海の上の新たな魅力創出事業（1/2）

事業対象地	浅茅湾周辺	
対象エリア	浅茅湾満喫エリア	
対象ゾーン	新たな海上ライフ創出ゾーン	
整備カテゴリ	ハード整備	建築施設(新設)、小規模施設(新設) 景観形成
	ソフト整備	イベント企画
事業概要	<p>現在浅茅湾では渡海船でのクルージング等ができるものの、景色を見るだけの観光となっている状況です。そこで、渡船場のある各集落への渡海船の就航にあわせて、新たなスタイルのレストランや宿泊施設を整備するなど、見るだけでなく、滞在して楽しむことができる環境整備を行うことで、仁位のまちなかや神話の里等と連携しながら、より多くの集客を目指します。</p> <p>また、海からの眺めを楽しみ、対馬らしさを感じることができるよう、ゲンカイツツジの整備を行います。</p>	
整備優先度	短期・中期・長期	
関連する個別事業	浅茅湾周遊プログラム整備事業、新しい中対馬情報発信事業、Wi-Fi環境整備事業	
事業主体	対馬市	
連携事業者	花を愛する会(仮称)、旅行・宿泊・飲食事業者、遊魚船事業者	
備考		



整備計画図



<沿岸の景観整備>

- ・ホッピングコース沿岸の山中にゲンカイツツジを整備(重点整備7箇所)
- >航路に合わせて設定
- ・船上からの「ミッカビ」企画

整備の考え方:

各集落の渡船場付近にポンツーンを配置し、ポンツーン上にレストラン(いかだレストラン)を整備します。ポンツーン上のレストランでの実証実験を経た後は、いかだ宿としての整備を目指します。また、新たな海上の魅力の創出として、浅茅湾沿岸の山にゲンカイツツジの植樹を行います。

※ミッカビ:旧暦3月3日に行われるゲンカイツツジの花見

整備イメージ

ゲンカイツツジの景観整備イメージ



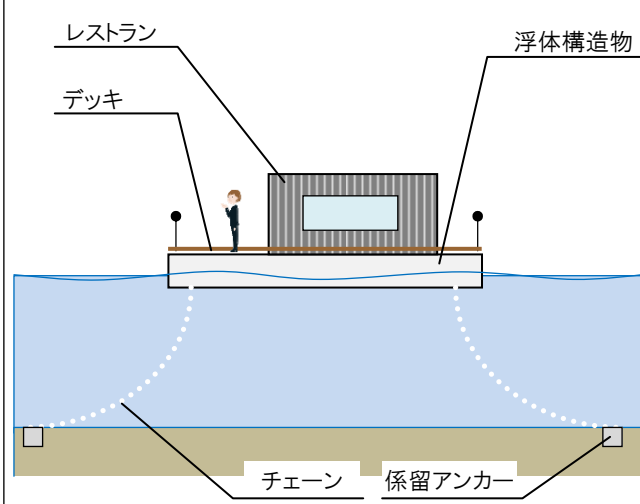
ゲンカイツツジの景観整備

いかだレストランの整備イメージ

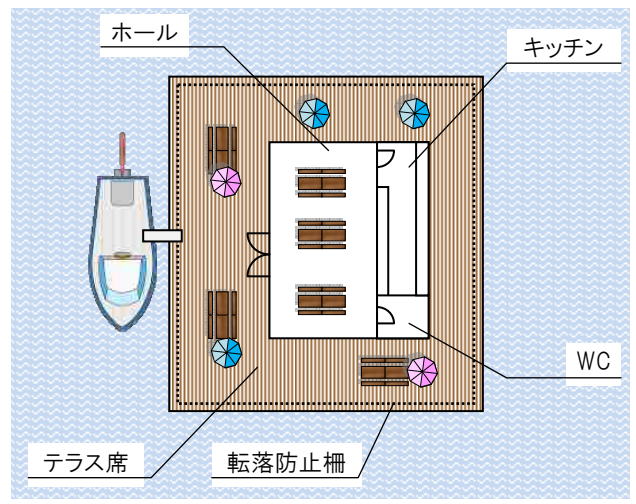


浅茅湾に浮かぶ“いかだレストラン”

断面図イメージ



平面図イメージ



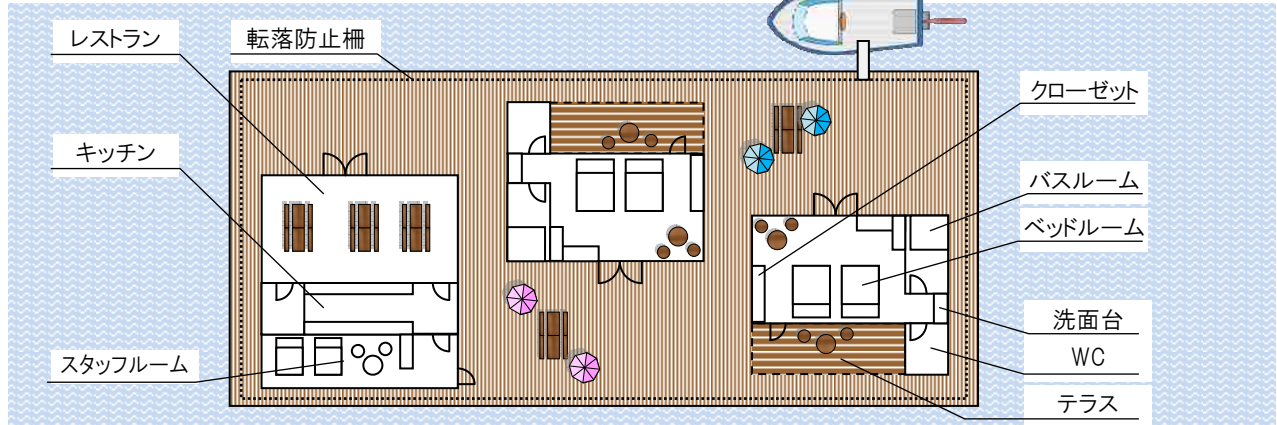


海の上の新たな魅力創出事業 (2/2)

整備イメージ

いかだ宿の整備イメージ

平面図イメージ



参考事例) 海外のフローティング・ホテル



(スウェーデン ショーン島)  
ポンツーン上に整備されたホテルで、23 室の客室とレストラン  
※3 万/泊～



(タンザニア ペンバ島)  
寝室は海中部にあり、窓から海中を見渡せる  
※18 万/泊～



(オーストラリア シドニー湾)  
ポンツーンとコンテナを組み合わせたミニホテル  
※ —



(タイ クウェー川)  
クウェー川に浮かぶ連棟式のフローティング・ホテル  
※2 万/泊～

参考事例) 初代オリアナ(国内の係留船を活用したミュージアム/ホテル)

概要)

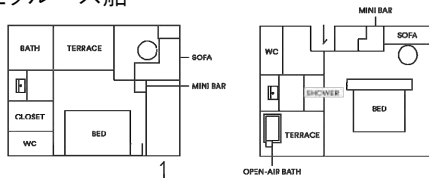
1960 年: 就航したイギリスの客船  
1987 年: 客船として引退後、別府港に係留されてフローティング・ミュージアムとして運営  
1964 年: 東京オリンピック時には横浜港に停泊して海上ホテルとして使用された  
1995 年: 日本での営業を終了  
1999 年: 中国で豪華客船博物館、海上テーマパークとして営業  
2005 年: 前年の台風の影響で浸水、修復不能のため解体



参考事例) ガンツウ(国内クルーズ船の宿泊)

概要)

せとうちの海に浮かぶ小さな宿で“ただ、過ぎゆく時を愉しむ”という旅をコンセプトとしたクルーズ船



尾道を起点として 1～3 泊で瀬戸内海を周遊  
旅行料金: 40～90 万/人(2 名 1 室利用時)

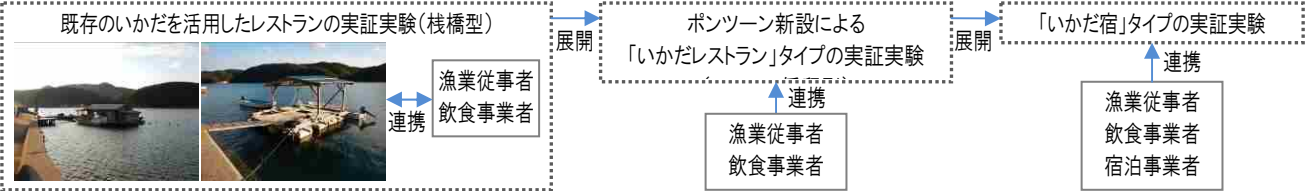
整備イメージ

関連法規の整理

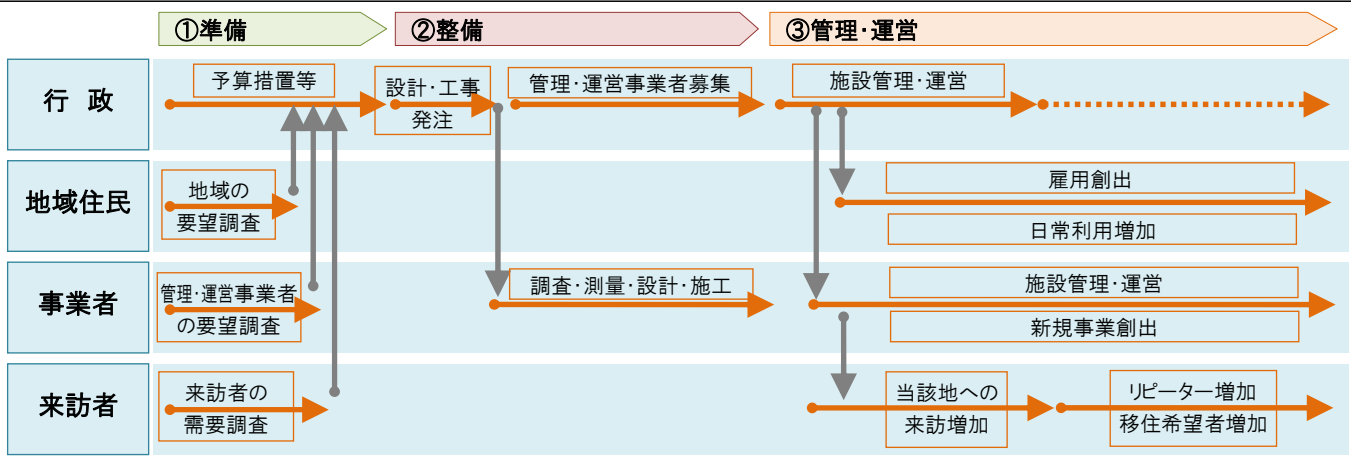
- 【水域占用許可に関連する法規】  
港湾法・港則法・漁港法・海岸法・国有財産法等(手続き)
- 【構造・安全に関連する法規】  
国土交通省海事局が係留船、港湾局が港湾施設、住宅局が海洋建築物というそれぞれの見方に基づき、その安全性について、それぞれの法規(船舶安全法、港湾法、建築基準法、消防法)の適用
- 【浮体式構造物の法的位置づけ】  
財団等を組成することで抵当権登記を行うことは可能  
※公設公営の場合は現行法規の枠組みの中でも推進可能



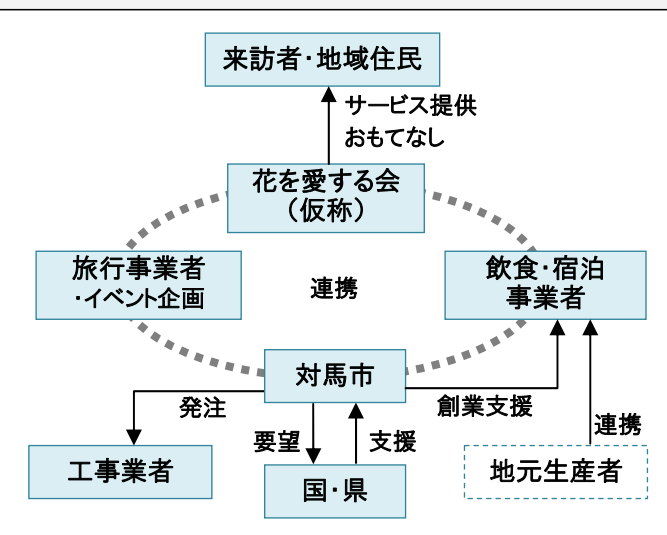
いかだレストランの実証からいかだ宿の事業展開のイメージ



事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



概算事業費

いかだレストランタイプ(150 m <sup>2</sup> )		
ボンツーン(チェーン係留型)	5 箇所	1.5 億
レストラン棟	5 棟	0.6 億
いかだ宿タイプ(350 m <sup>2</sup> )		
ボンツーン(チェーン係留型)	5 箇所	4.0 億
レストラン、宿泊棟	15 棟	1.8 億

※各タイプの整備箇所数については、実証実験を踏まえて検討

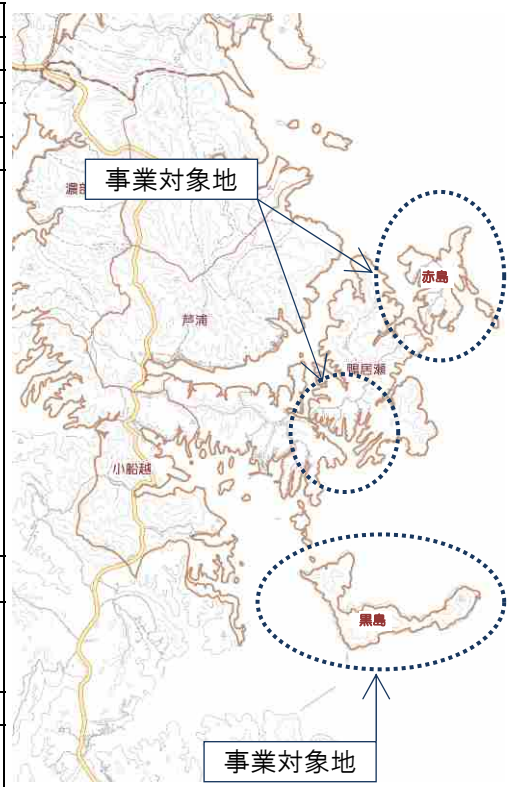
活用可能な補助事業

- ・生物多様性保全推進支援事業
- ・元気な観光地応援事業
- ・景観形成関連事業

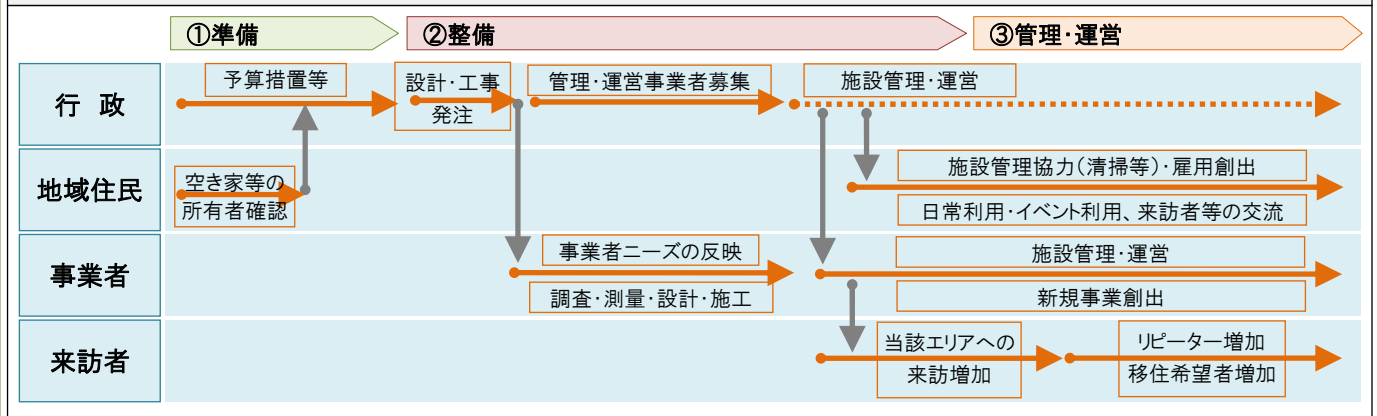


しま暮らし満喫プログラム整備事業（1/2）

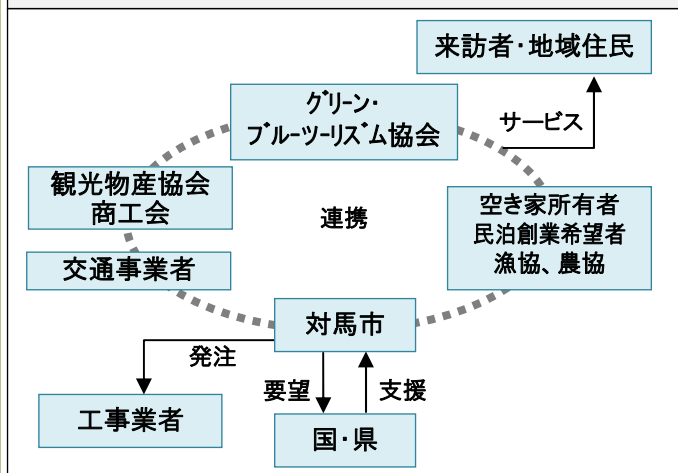
事業対象地	鴨居瀬、赤島、黒島	
対象エリア	ゆったり島暮らしエリア	
対象ゾーン	自然のやすらぎゾーン	
整備カテゴリ	ハード整備	建築施設(改修)、広場・屋外等
	ソフト整備	創業支援、コース設定
事業概要	<p>赤島・黒島は、対馬の中でも美しい自然景観が残る場所ですが、対馬島内の主要幹線道路から外れることもあり、あまりPRされていない地域でもあります。</p> <p>そこで、現在の美しい自然景観を損なわないよう、極力、施設建設や開発等を行わず、また、環境保全とプレミア感を両立させるため、対象者を限定した「癒しの場」のプログラム整備を行います。</p> <p>また、赤島の静かで落ち着いた環境を満喫できるよう、特に都会の喧騒を離れて中～長期間(1ヶ月～1年程度)滞在を希望する来訪者を対象とした宿泊環境の整備を行い、地域全体でのおもてなし環境を創出することで、活性化と移住促進等を図ります。</p>	
整備優先度	短期・中期・長期	
関連する個別事業	しまの周遊アクティビティフィールド整備事業、新しい中対馬情報発信事業、民泊施設・移住支援住宅等整備事業、Wi-Fi環境整備事業	
事業主体	対馬市会、交通事業者	
連携事業者	観光物産協会、商工会、漁協、農協、グリーン・ブルーツーリズム協会、空き家所有者、民泊創業希望者	
備考		



事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



概算事業費

※空き家の改修については、「民泊施設・移住支援住宅等整備事業」を参照

活用可能な補助事業

- ・定住促進空き家活用事業
- ・空き家対策総合支援事業

整備イメージ

①鴨居瀬の集落



整備の考え方：

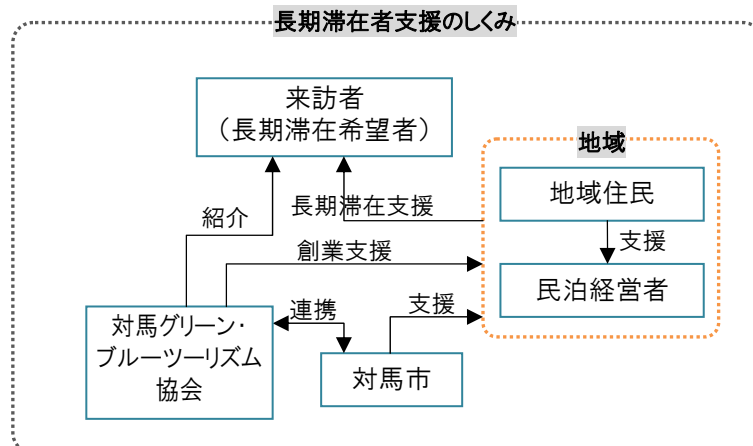
地域に所在する空き家の活用を基本とし、希望する来訪者が長期滞在できる宿泊施設(民泊等)の整備を行います。



空き家の改修



移住体験ツアーの募集  
(例：南房総市)





## しま暮らし満喫プログラム整備事業 (2/2)

### 整備イメージ

#### ②赤島周辺

##### 赤島



##### 整備の考え方:

赤島では、製塩所と連携した藻塩をPRするカフェや見学環境、参加者を限定したビーチ・リトリートプログラムを設定します。

##### <赤島の砂浜活用>

- ・ビーチリゾートプログラムの整備 (ヨガ、瞑想、海水浴、SUP、シーカヤック、婚活イベント等)
- ・誘導サインの設置

##### <既存製塩所周辺の活用>

- ・見学、体験プログラムの整備
- ・スローフード提供の飲食施設の整備
- ・案内板の設置



塩スイーツの開発・提供



ビーチ・リトリートプログラム



## 整備イメージ

## ③黒島周辺



## 整備の考え方:

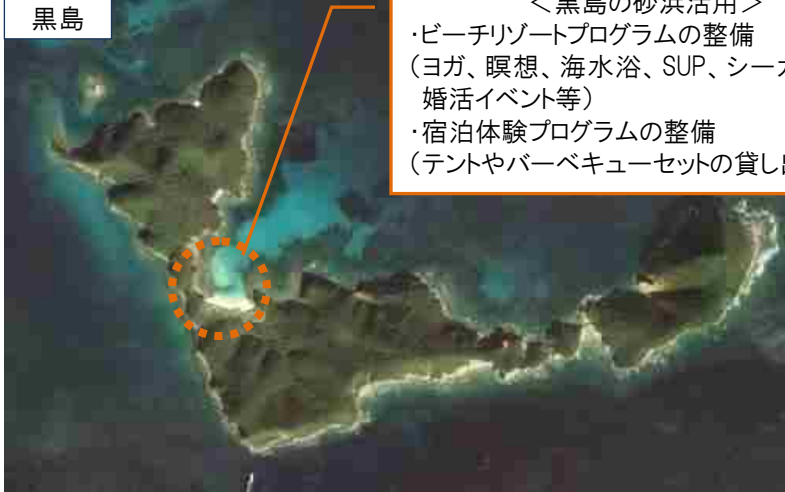
黒島では、鴨居瀬漁港の遊漁船事業者と連携した無人島ビーチ・リゾートや宿泊体験等のプログラムを整備します。

## 活用の基本方針(案)

黒島の自然環境を保全し、固有の価値を高めるため、施設や工作物等の人工物は整備しない。

プログラムで上陸する人は、物品やごみを残さないことや清掃の義務を条件とする。

## 黒島

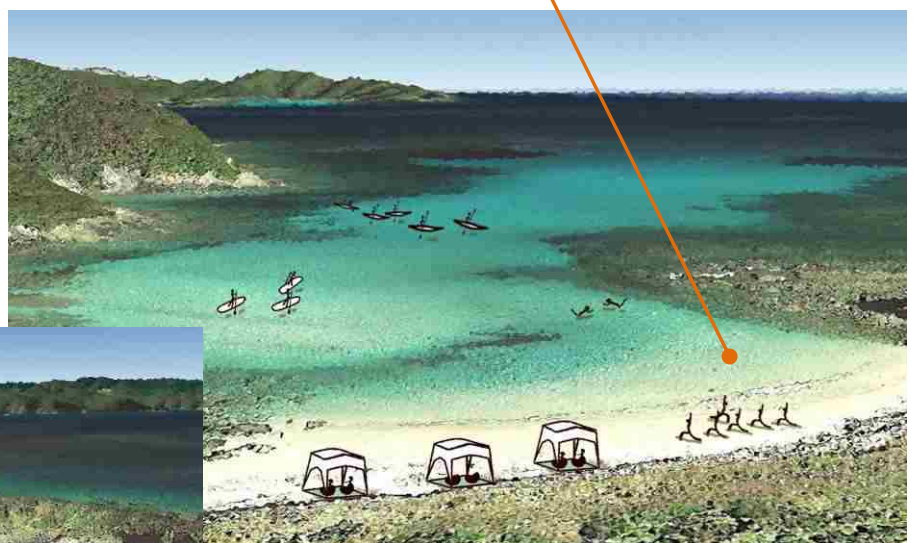
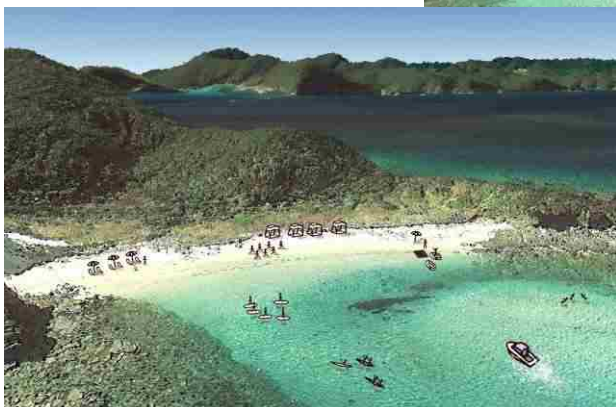


## ＜黒島の砂浜活用＞

- ・ビーチリゾートプログラムの整備  
(ヨガ、瞑想、海水浴、SUP、シーカヤック、婚活イベント等)
- ・宿泊体験プログラムの整備  
(テントやバーベキューセットの貸し出し等)



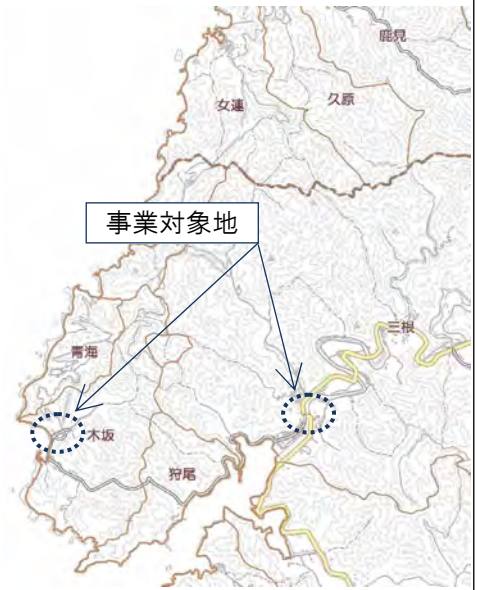
無人島でのビーチ遊び



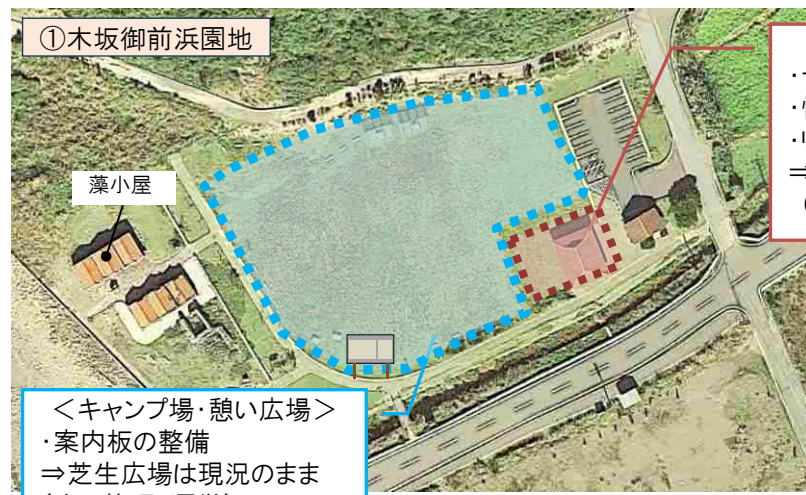


峰・木坂中核拠点整備事業

事業対象地	木坂御前浜園地、峰町歴史民俗資料館	
対象エリア	活力と安らぎの滞在エリア	
対象ゾーン	歴史と花畑の憩いゾーン、スポーツによる活力増進ゾーン	
整備カテゴリ	ハード整備	建築施設(改修)、小規模施設(新設)
	ソフト整備	創業支援、イベント企画
事業概要	木坂御前浜園地と峰町歴史民俗資料館を当該エリアの中核拠点と位置づけ、情報提供や飲食、宿泊等ができる施設を整備し、そこを拠点に来訪者等が周辺の観光地を巡ったり、周遊サイクリングをするなど、より長い時間中対馬に滞在できるように、魅力ある拠点を整備します。	
整備優先度	短期・中期・長期	
関連する個別事業	海辺と森のリゾートフィールド整備事業、スポーツ関連施設整備事業、新しい中対馬情報発信事業、民泊施設・移住支援住宅等整備事業、Wi-Fi環境整備事業	
事業主体	対馬市	
連携事業者	振興局、地元婦人部、観光物産協会	
備考	峰町歴史民俗資料館の整備は、対馬市博物館(仮称)への収蔵品再配置の状況を踏まえて実施	



整備計画図



<コミュニティスペース>  
 ・せんだんご茶屋の運営  
 ・情報提供機能の導入  
 ・リゾートグッズの貸し出し  
 ⇒既存の四阿とテント等で仮設運用(実証実験)を経て施設整備を検討

<峰町歴史民俗資料館>  
 ・ゲストハウスの整備  
 ・歴史展示室(資料館の縮小)  
 ・情報提供施設の整備  
 ・レストランの整備  
 ・案内板の整備  
 ⇒既存の施設を改修

<キャンプ場・憩い広場>  
 ・案内板の整備  
 ⇒芝生広場は現況のまま(市で管理・運営)

整備の考え方:

①木坂御前浜園地

地域のスローフード提供の場、周辺の歴史案内や地域資源等の情報提供の場として、既存の建物をコミュニティカフェに改修・増築します。また、芝生広場は既存のままとしますが、キャンプや休憩ができる憩いの場とします。

②峰町歴史民俗資料館

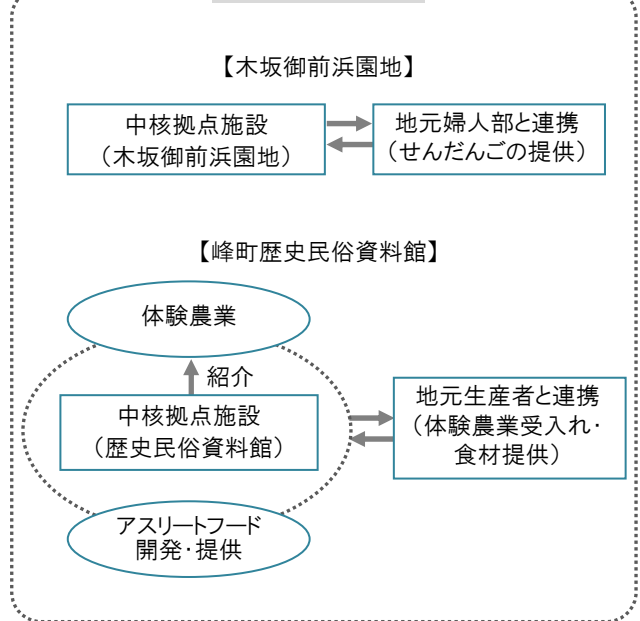
対馬市博物館(仮称)建設後に現在の収蔵品等を整理し、展示スペースを縮小するとともに、合宿誘致による外部からのスポーツ選手等の受入れができるゲストハウスの整備や、周辺施設の案内や宿泊者が飲食できる施設を整備します。



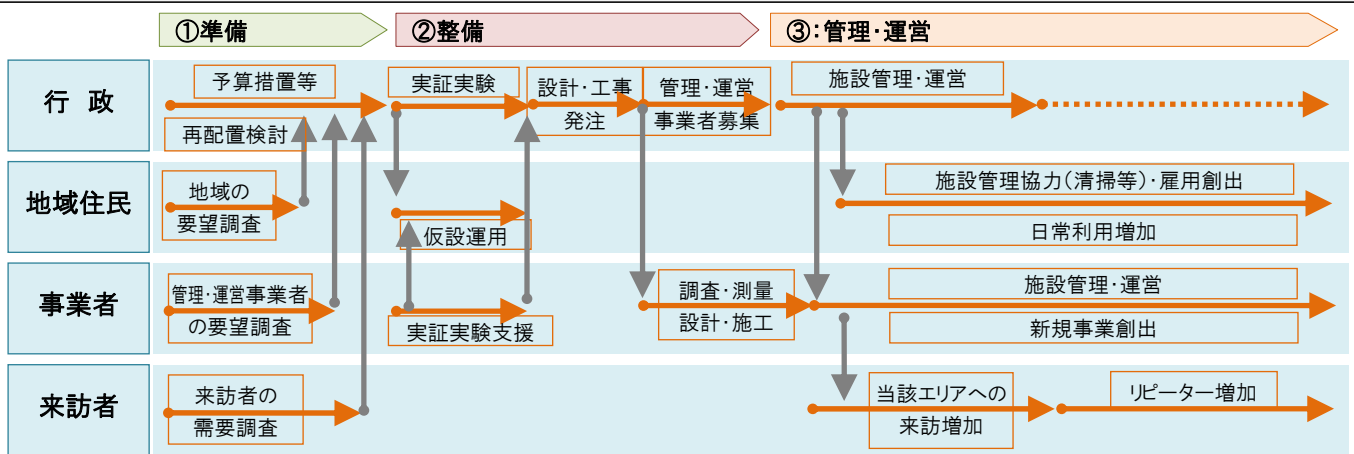
整備イメージ



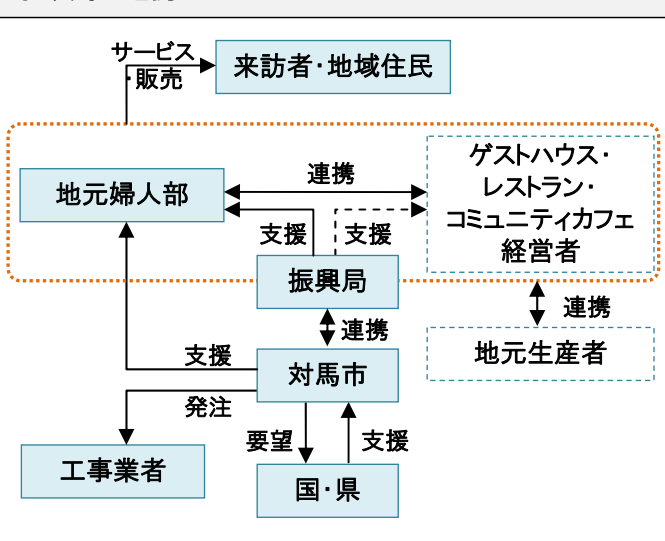
地域との連携イメージ



事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



概算事業費

木坂御前浜園地		
案内板	1箇所	150万
コミュニティスペース	250㎡	5,500万
峰町歴史民俗資料館		
案内板	1箇所	150万

※コミュニティスペースは、実証実験を経て事業化を検討  
 ※峰町歴史民俗資料館は、収蔵品再配置後に事業化を検討

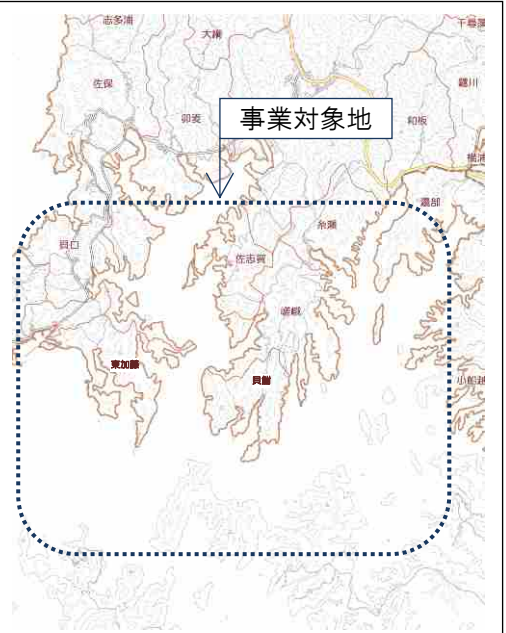
活用可能な補助事業

- ・輝く地域再生事業
- ・小さな楽園づくり交付金事業



浅茅湾周遊プログラム整備事業

事業対象地	浅茅湾周辺	
対象エリア	浅茅湾満喫エリア	
対象ゾーン	入り江の海上アクティビティゾーン、無人島ひとり占めゾーン、浅茅湾ホッピングコース	
整備カテゴリ	ハード整備	小規模施設(新設)
	ソフト整備	コース設定、人材育成、イベント企画
事業概要	中対馬の魅力の一つは、浅茅湾の海と、その海を囲む山々であることから、これらの資源を活用したアクティビティフィールドの整備や景観整備を行うとともに、船を利用したおもてなしのプログラムを充実させることにより、浅茅湾の魅力を最大限に活かした新たなアクティビティ創出を図ります。	
整備優先度	短期・中期・長期	
関連する個別事業	海上の新たな魅力創出事業、大石浦砲台ルート整備事業、新しい中対馬情報発信事業、Wi-Fi 環境整備事業	
事業主体	対馬市、渡海船	
連携事業者	商工会、観光物産協会、真珠養殖業者、マリンスポーツ事業者、旅行・飲食事業者等	
備考		



整備計画図

凡例

- : 既存渡船場
- : 真珠加工体験場
- : 浮き棧橋整備

＜和板の海岸＞

- ・アクティビティツール(シーカヤック、SUP、水上自転車等)の貸出所の整備
- ・案内板の設置(1箇所)(アクティビティフィールド拠点)

＜ホッピングコースの設定＞

- ・渡船場のある集落へのコース設定
- ・各渡船場に案内板の設置(9箇所)
- ・渡海船を利用した船上プログラムの企画(船上ヨガ、船上での食事提供等)
- ・真珠養殖体験の実施(真珠ツーリズム)

＜無人島上陸体験＞

- ・各無人島に浮き棧橋を整備(8箇所)(シーカヤックでの上陸可能箇所の確認)
- ・無人島女子会プラン、無人島1泊プランの企画

整備の考え方:

仁位港を出発地点として、既存の渡船場がある集落や、真珠加工体験場に就航できるよう、渡海船のコースを設定します。また、和板の海岸沿いをアクティビティフィールドの拠点として整備し、そこからシーカヤック等で無人島に上陸できるよう、必要に応じて浮き棧橋を整備します。

整備イメージ

渡海船を利用した船上プログラム



船上ケータリングサービス



船上ヨガ

ホッピングコースの運動プログラム



港の小さなお出迎え



真珠養殖体験

和板の水上アクティビティ



SUP



水上自転車



カヤックフィッシング

無人島上陸体験までのプロセス

島の所有者を調査  
(上陸許可)

上陸可能箇所の調査  
(生態系、地形等)

必要に応じて浮き桟橋等の整備  
(船での上陸も考慮)

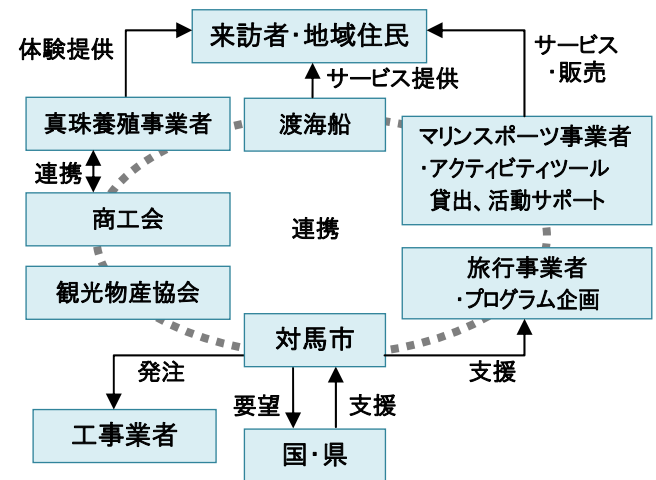


シーカヤック無人島上陸体験

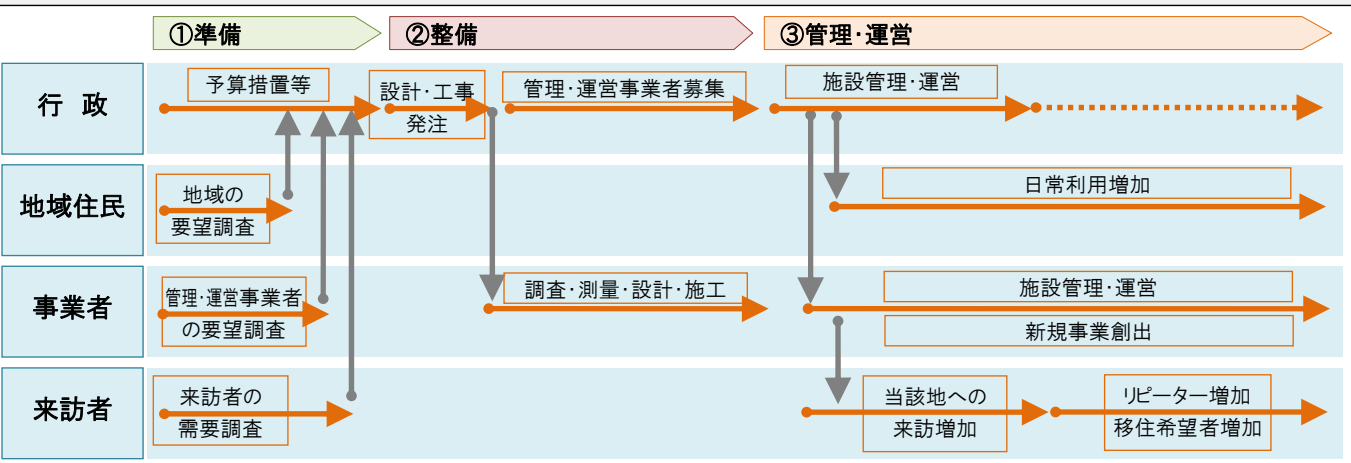


無人島女子会プラン

事業間の連携イメージ



事業計画イメージ(和板の海岸:アクティビティフィールド拠点施設)



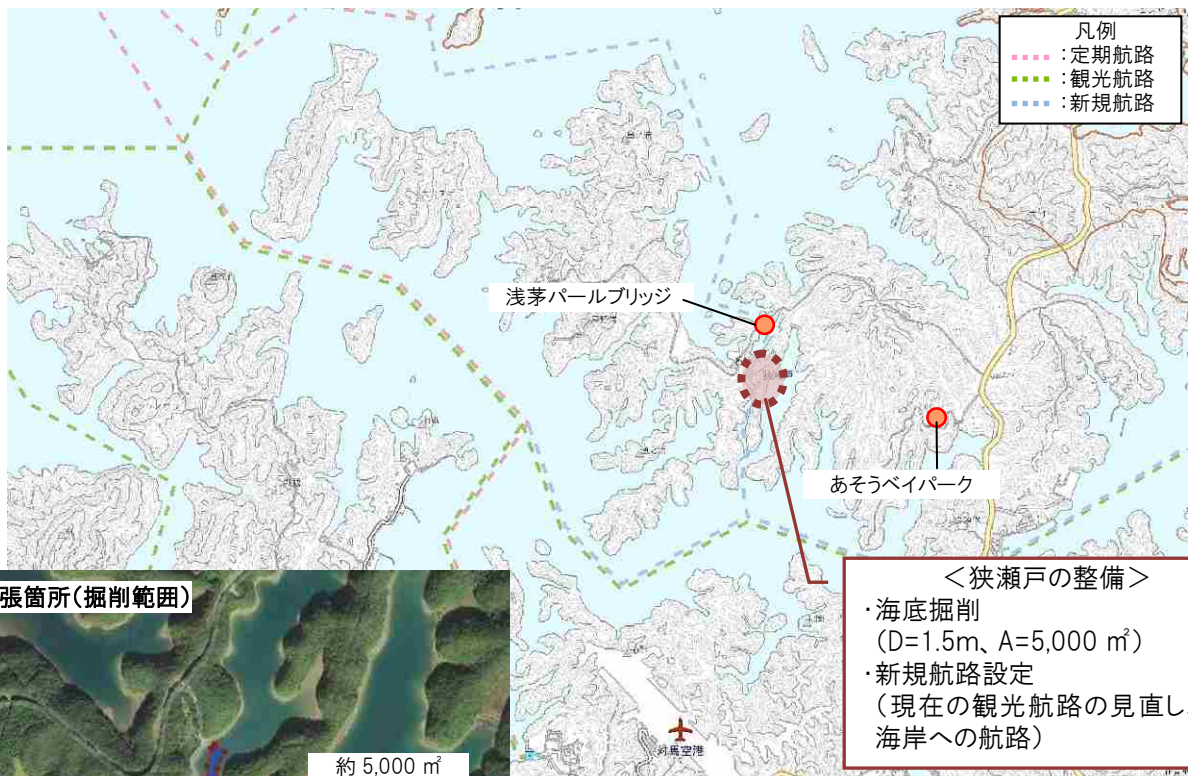


狭瀬戸海底掘削事業

事業対象地	狭瀬戸	
対象エリア	浅茅湾満喫エリア	
対象ゾーン	—	
整備カテゴリ	ハード整備	海底掘削
	ソフト整備	ルート設定
事業概要	狭瀬戸は海底が浅く、渡海船の通行ができないため、現在の渡海船の観光航路は若干波が荒い外海を通るルート設定となっています。外海を航行するデメリットとして、船の揺れが大きいことや、航行に時間がかかることが挙げられ、これらを解決するためにも、狭瀬戸を通るルートの開通が望まれている状況です。そこで、渡海船が通行できるよう、海底の浅い箇所を掘削することで、新たな観光航路の開通を目指します。	
整備優先度	短期・中期・長期	
関連する個別事業	浅茅湾周遊プログラム整備事業	
事業主体	対馬市	
連携事業者	渡海船	
備考		



整備計画図



＜狭瀬戸の整備＞

- ・海底掘削 (D=1.5m、A=5,000 m<sup>2</sup>)
- ・新規航路設定 (現在の観光航路の見直し、東海岸への航路)

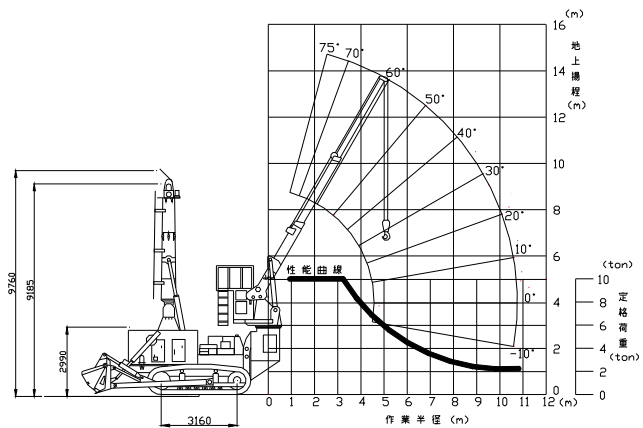
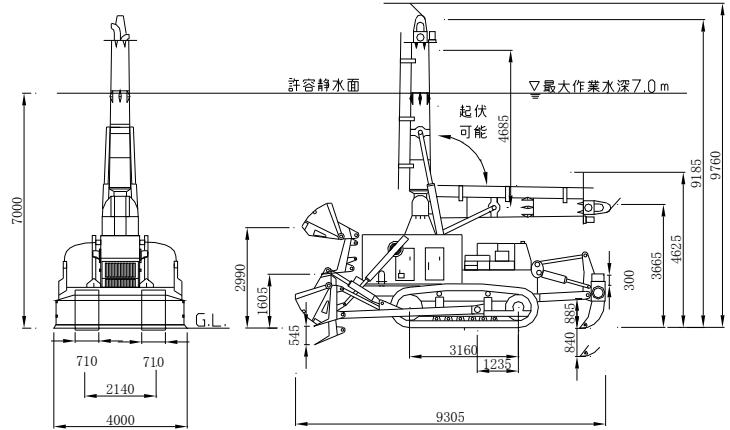
整備の考え方：

水深が 3.0m以上あれば、現在の渡海船で通行できるため、現在の水深約 1.5mから、1.5m程度掘削します。

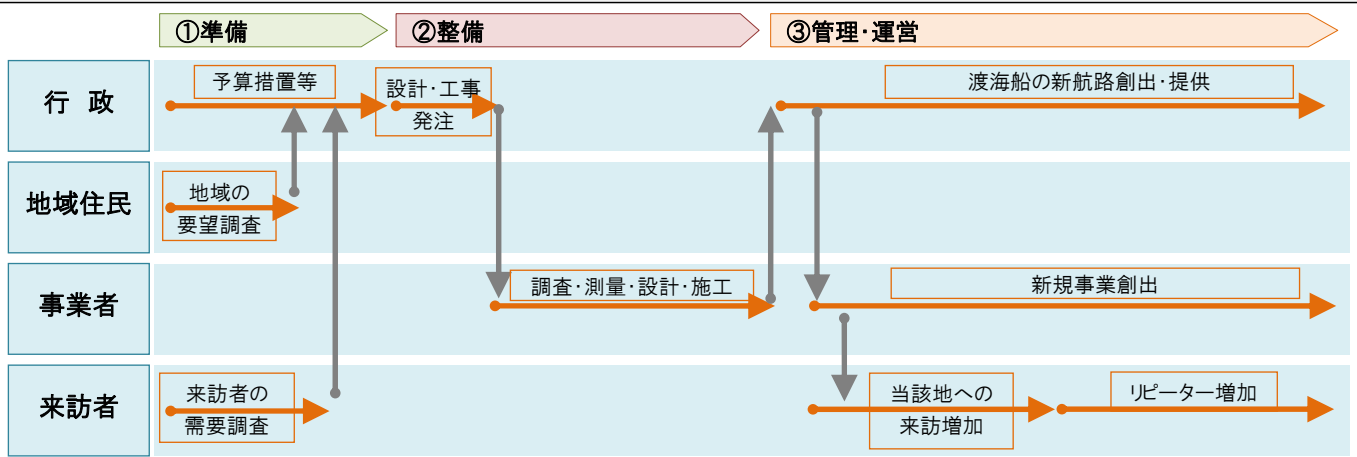
また、掘削することにより、渡海船が通行できるようになるため、現在の観光航路のルート見直しと、東海岸への新規航路の検討を行います。

整備イメージ

当該地は、狭隘な浅水域であり、陸上機械や作業船では施工困難であるため、遠隔操作型の水陸両用ブルドーザ工法（水深7m以下に対応可能）を想定します。



事業計画イメージ



概算事業費

海底掘削 (岩盤破碎を想定、工事用道路含む)	7,500 m <sup>3</sup>	2.5 億
地質調査・測量・設計・事務等	一式	0.8 億

※環境への影響調査結果を踏まえて実施の可否や工法を検討

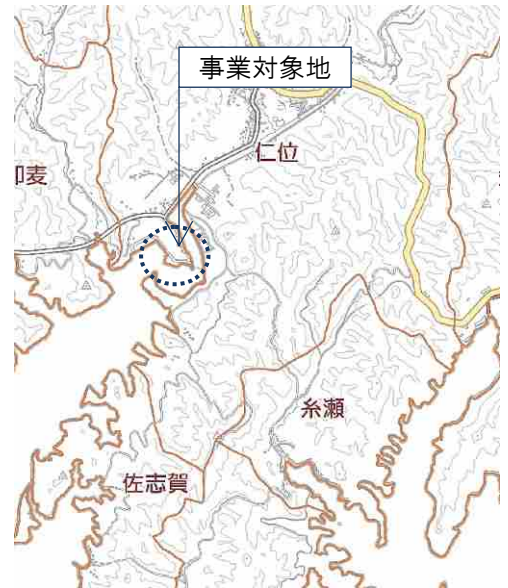
活用可能な補助事業

・社会資本整備総合交付金



浅茅湾玄関口整備事業

事業対象地	仁位渡船場周辺	
対象エリア	“対馬のへそ”交流拠点エリア	
対象ゾーン	浅茅湾の玄関口ゾーン	
整備カテゴリ	ハード整備	建築施設(改修)、小規模施設(新築)、 広場・屋外等
事業概要	<p>渡海船は、中対馬の住民の日常交通機関となっているほか、観光においても観光航路を設定するなど、重要な役割を果たしています。しかし、現在の渡船場は場所がわかりにくいことや、標識や看板等がないことから、初めて来た人には認識されにくい状況となっています。そこで、待合所の改修や観光案内等の機能を充実させることにより、浅茅湾の玄関口としてさらなるアピールができる整備を行います。</p> <p>また、近隣の事業者と連携し、中対馬の林業や漁業の魅力を紹介する場として移住促進に向けたPR活動の支援を行います。</p>	
整備優先度	短期・中期・ <b>長期</b>	
関連する個別事業	魅力ある“まちなか”整備事業、神話の里自然公園再整備事業、新しい中対馬情報発信事業、Wi-Fi環境整備事業	
事業主体	対馬市	
連携事業者	水産関係飲食店、林業関連事業者	
備考		



整備計画図



**整備の考え方：**  
初めて来た人でもわかりやすい案内誘導や、船を待っている間も気持ちよく時間を過ごせる憩いの広場やトイレ、待合所を整備し、浅茅湾の玄関口としてふさわしい景観美化を行います。

- ＜渡船発着場周辺＞
- ・待合所の改修(待合室、観光案内・地域産業の魅力紹介コーナー設置)
  - ・トイレの整備
  - ・憩いの広場の整備
  - ・駐車場の整備  
(普通車 10 台、大型車 1 台)
  - ・サイクルスタンドの設置
  - ・案内板の設置
  - ・地盤の一部嵩上げ(高潮時の浸水を防ぐ)

整備イメージ



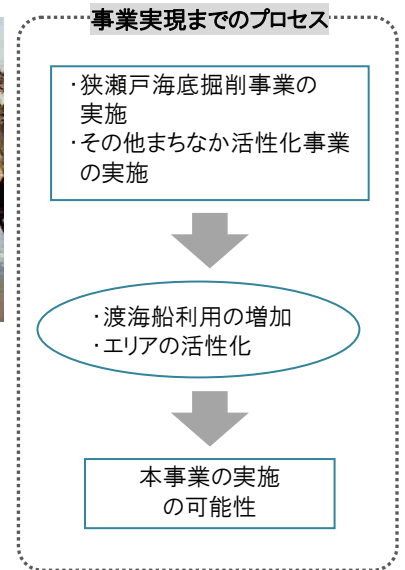
きれいな待合所



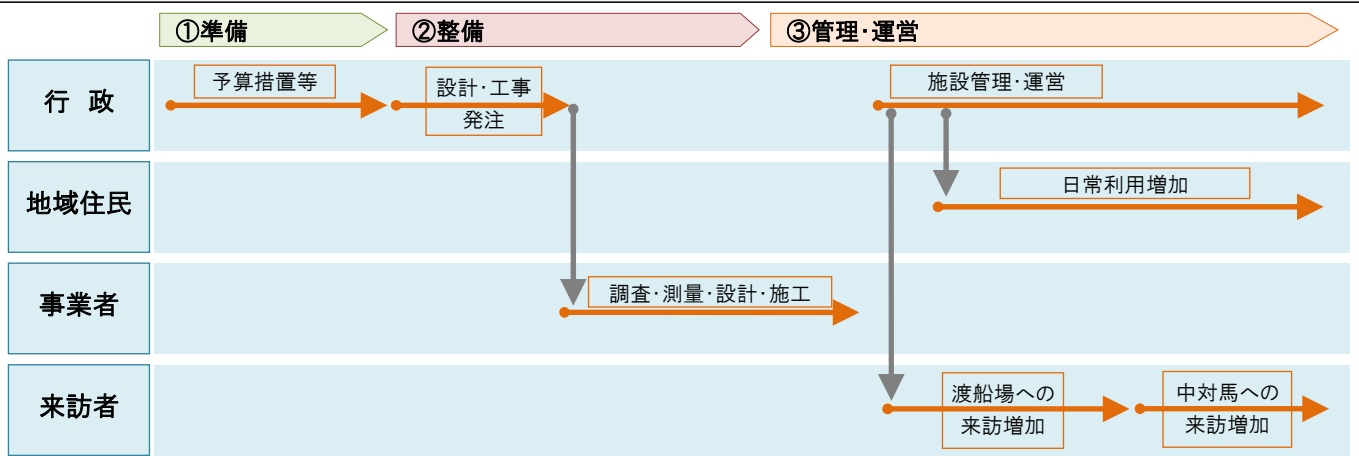
対馬林業の魅力PR



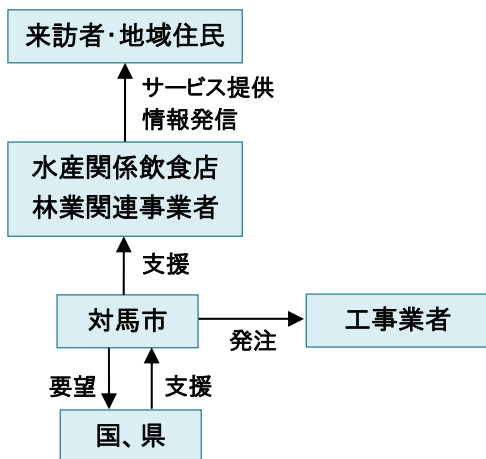
対馬漁業の魅力PR



事業計画イメージ



事業間の連携イメージ



概算事業費

憩いの広場	1,000 m <sup>2</sup>	800 万
待合所の改修(20 m <sup>2</sup> )	1 棟	450 万
トイレの改修(20 m <sup>2</sup> )	1 棟	1,000 万
駐車場	11 台	200 万
案内板	1 箇所	150 万
サイクルスタンド	1 箇所	10 万

活用可能な補助事業

・市町村港湾整備事業